

## 1.法人の総合支援体制を構築する一年

◆私たち慧誠会は、こどもから高齢者まで、あらゆる世代に生きる人々への保育・療育・子育て支援、就労・社会復帰等の障がい者支援、高齢者の介護・介護者支援など、地域の人々が安心して暮らすための支援機能(事業所・サービス)を有しています。

◆昨年从此数年の間に、保育・療育、障がい者自立支援、生活保護、介護保険等、関連の制度改正が進みます。その方向はまさしく「地域での生活支援」です。一方、そんな状況を見据え、さまざまな事業体が動き始めており、まさしく「サービス競合の時代」といえます。私たちの法人は、どの世代の支援対象者(児)にも生活支援が可能な機能(価値)を持っています。今こそこのことを自覚し、広い視点で制度動向を注視し、自らのサービス対象者(児)の生活状況から、そのニーズに対するオーダーメイドの支援・サービスを作り、統合充実・させていくことが求められます。

◆昨今の支援対象者(児)を取り巻く状況は、さまざまな状況・経済情勢から虐待、権利擁護等、抱える不安や問題・課題が複雑化しており、かつどの世代にも共通に見られています。またそれは当事者のみの問題ではなく、その人の世帯に・家族に対する「支援が必要な状況」として見られます。そんな相談に応ずる各々の専門職が強く意識すべきは、自らの事業所の機能のみではなく、「慧誠会がその複合的生活課題に対して総合的に対応しうる体制をもっている」ということです。

◆我々慧誠会は、3つの分野、事業所毎にサービス・支援を提供しています。改めてこの状況に対して、各々の事業所機能とスタッフの専門知識・技能を、「法人の総合的機能として認識」し、どのライフステージにおいても共通に、かつ分野・事業所の枠を超えた「総合的に支援できる体制づくり」が求められます。

## 2.地域のサービス提供拠点となるための一年

◆地域には、共働き、一人暮らし、高齢者のみ、認々、精神疾患、ニート、生活保護等、様々な保育療育、生活上のハンディを抱える世帯が増え、またそんな状況から、孤立や孤独死、栄養失調や疾患の悪化、閉じこもり、育児ノイローゼや放置、就労困難、経済的虐待などに至った事例に遭遇します。

◆私たち法人の意義・目的は、「利用者・家族を支える」ことです。その機能は、保育・療育・介護・看護・リハビリ・栄養調理・生活相談・子育て・就労支援・ネットワークづくり等といったスタッフの専門知識や技術(ソフト)と、住まい・設備備品(ハード)があります。こうした機能は地域の一般家庭や小規模な専用住宅、施設等で整えられるものではなく、在宅向けサービスのみで補完しきれものではありません。ゆえにこうした機能は、地域の必要な人に有効に活用していただくことが大事です。

◆我々の事業所は様々な地域にあり、付近の住民と様々な関係を作りながら存在しています。がしかし、そういった「法人として総合的に生活支援する機能」として住民に認識されているでしょうか。既存の事業の枠を超えた「地域生活支援体制」づくり・実践こそがカギを握ります。すべての事業所は、「地域生活を支える・支えられる拠点」への意識を強くし、有する様々な支援機能を、分野・事業所横断的にコーディネートし、地域へ還元することが強く求められます。

### 3.一人ひとりを尊重したサービスの再点検

◆サービスを選ぶ際には、建物や調度品が新しい・素敵・設備が充実している、立地が良い…等様々あります。しかし競合他社が増え、そうした環境面が大同小異になったとき、最後に残るものは何でしょう?それは、「私や家族を大事にしてくれるか否か」、その一点に集約されるでしょう。

◆そこで改めて立ち返る基本は、「ひとりひとりを尊重すること＝個別支援」です。

ひとは、その人柄、歴史等はそれぞれ違い、また身体や疾病、家庭環境の状況も同様です。誰もが「私を理解し、思いを尊重して欲しい」と願っています。そのために、相手のところとからだを・その背景を知り(アセスメント)、その状態や様子にあった根拠ある支援をすることです。改めてその基本に立ち戻り、一人一人に満足のいくサービスを提供できているのか、その内容を再度点検する必要があります。

### 4.専門性の高い普遍化された支援技術の構築と地域社会への還元

◆私たちは、こどもから高齢者まであらゆる世代に生きる人々が、安心・安全に暮らせるよう支援するために存在します。その支援の質の維持向上を考えると、私たちは絶えず上述の点検の上に「根拠となる実践やそれを支える諸科学」に立ち戻り、実践の科学化を進めていかなくてはなりません。

◆加えてその知識や技術は、事業所内に留らず、地域で暮らす人々に積極的に還元することが求められます。私たちがもつ機能は、様々な障がいや不安、生活問題を抱えていたとしても、子供から高齢者までが豊かに生活することを総合的に支援できる機能を持っているのです。

◆並行して、前項の「ひとりひとりの尊重」の上に、専門職によるたくさんのケア・支援技術や実践のノウハウ等を住民に還元していく中で、この地域に我々が存在する意味が増し、我々自身もプロとして育てられるのです。

### 5.人材育成の推進と安定した経営の確保

◆私どもが提供するものは、まさに人が人に対して行なう対人サービスです。つまり「ひとりひとりの職員がサービスそのもの」であり、「いい人材こそがいいサービスをする」のです。目指すのは、職員個々にその能力を存分に発揮してもらうための人材育成であります。その結果、ひとりひとりの職員が育ち、サービスの質向上が図られ、安定した経営に結びつくといえます。

◆ここ数年、帯広市中心に競合する事業所が増えていきます。社会福祉法人以外のNPOや株式・有限会社などが、我々の事業所とほぼ等しい機能を有し、さらに、特殊な機能やサービスを行ったり、小さな規模で様々なニーズに応える事業所が増えていきます。今後益々そうした地域でのサービスの環境変化は進むでしょう。

◆そう考えたとき、「選ばれるサービス提供のための付加価値を追及する」とことと併行して、地域の状況を調べ、それを踏まえた事業戦略を立て、「やっていることを積極的に知ってもらう」ために、サービス通信やホームページなどでの積極的PRや営業活動、また地域資源との協働体制づくり等を実行する機能を、法人として確立する一年とします。